

十二月の活動内容

十二月に入り、途端に冷える季節となりました。自身の活動としましては、先月に引き続き天龍村の歴史書籍の制作に向けた原稿の作成を行いました。

生まれ故郷の「団地」

団地と聞いて具体的にイメージできる人は案外少ないかもしれません。日本で団地が最初にできたのは、一九五五年。終戦から十年が経過したこの年、全国で二百五十万戸の住宅が不足していました。国は住宅不足と住環境向上の二つの目標を掲げ、この年に「日本住宅公団」を設立します。公団設立の立役者として知られるのが当時衆議院議員であった田中角栄議員です。そして団地一号が大阪府の堺市に誕生します。設立当初の団地は日本の希望を象徴していたといわれます。高度経済成長期にあつたこの時期の日本は、まさに上へ上へと経済成長をしていました。この時期に各地に団地が誕生するので、団地は高度経済成長期の日本を象徴するものだつたのでしょう。

しかし団地は現在、高齢化の影響を直接うけ、子供の声はまつたくありません。年に二回ほど、生まれ故郷の団地に帰省する私の肌にもその限界加減が直接感じられます。団地は今、都市の中の限界集落ともいえる状況に陥っています。外国人が多く住むようになり、団地内での行事やイベントはまつたく姿を消しました。団地の中がそのままひとつの中核共同体であつた団地は、いつぶんしてその共同体的性質が消え去ろうとしています。もしかしたら団地の状況と地方の状況も似ています。

まつやの舌助

われの活動 松川友哉

令和5年12月26日
第128号
編集:松川友哉

本年も
ありがとうございました。
来年も
よろしくお願ひします。



●和知野川キャンプ場
・十一月からの状況ですが、十二月二週目までの週末はありがたいことにほぼ満場となりました。ですが十二月中旬以降は、週末でも十組程度の予約となつております。管理側からすれば、もつとお客様を増やさないと！とも考えますが、お客様からすれば人が少ないほうが静かに楽しめて嬉しいという声も聞きます。完全に1人だと怖い：という方もいます笑。冬季も採算が合うよう精進したいと思います。

・カフェ・売店も冬に向けて準備が整いました。カフェは、あずまやの薪ストーブ移設と冬用いが完了しました。昨年から薪ストーブの位置を変更したことにより暖かくなりました。毎週日曜日の朝はモーニング営業お待ちしております！

売店は、シロアリ被害対策のため東側の壁の工事が行われます。そのため、管理棟に売店と受付を移転しました。ログハウスの中に可愛い売店ができました♪毎週土曜日は開けてますので、お立ち寄りください。

初めて通常開催の「坂部の冬祭り」に参加させていただきます！

づく様はとてもよかつ
す（下写真）。晚秋は、
のりんご畑を眺めて育
私（長野市育ち）には、
やはっさくの柑橘類が
に実る今時期の黄色の
もまた嬉しく、冬でも
が明るくいられます。
ところでゆずは身体
い効能がいっぱいのよ
す。血行促進、お肌つ
やつや、血流改善、な
ど。採れたてのゆづを
しほつてゆずしょようゆ
やゆずタレにして毎日
いただき、村のおねえ
さま方のように天龍美
人を目指したいと思ひ
ます。



と終え、畠の片付
いますが、同時に
糞を畝間に入れて
に向けての準備
も進めていきます
ありがとうございます。
してこれからも
よろしくお願ひ
しますと畠と、
周辺のみなさま
へへ人も虫鳥もく
心をこめて、
今年もありがとうございました

2

●天龍村名物でぬぐい
第一弾「ていざなす」
好評発売中 村内各店にて
望月直接小売りも致します。
気になる第二弾は、ブツボウ
ソウの予定です。来年五月下
旬発売予定。これからデザイ
ン・企画に入ります。



モチコの
天龍やんやんや

2

三
冊
大

現実を生きるとは、希望を持たないことでではなく、希望を持ち、絶望に打ちひしがれることをひたすら繰り返すことです。確かに共同体は益々解体されることでよう。しかしこの共同体は、今私たちがイメージしている共同体に過ぎません。もしかしたら新しい形で、想像もできない共同体が形成されるかもしれません。そのために、共同体の可能性に希望を持ち、絶望に打ちひしがれるこれを繰り返す以外にありません。その前に私たちが本当に望んでいる新しい共同体の形成があるのでないでしょうか。

共同体への希望と共同体解体への絶望の矛盾と葛藤、対立の先に本当に望んでいる本望としての新しい共同体の形成があると私は信じます。

十一月中旬にていざなすの出荷やお茶の基本作業が終わり、ゆずの収穫やイベントやその準備に追われる日々となりました。秘境駅号の物販の二度の出店があり、十一月二十七日には長野市でお茶をはじめとした天龍村の特産品を販売したり、参加者との交流をするイベントを開催しました。どれだけ人が来てくれるか不安がありましたが、天龍村にゆかりのある方をはじめ、十七名の方々にお越しいただき、賑やかなイベントになったので良かったです。現地に来たいとご連絡くださった方や、紅茶を取り扱いたいと言ってくださいたパティシエの方もいたりと有意義な関係作りも出来ました。

十二月二、三日には岐阜市で開催された全国地紅茶サミットに出店しました。そのイベントでは全ブース試飲が出来るようになっており、紅茶に詳しい客さんがたくさん来ていました。普段は外国産の紅茶と比較した感想をいたくことが多いのですが国産紅茶の中での特徴や感想を聞け、より自分の紅茶を知ることが出来ました。また、他の出店者（生産者）との交流時間もありましたが、自分と同世代やもっと若い生産者が多くいて、普段得ることの出来ないパワーをたくさんもらうことが出来ました。また、九州など他産地の栽培の様子や、加工の話も聞けて貴重な情報を得ることも出来ました。有機栽培や無農薬で栽培しているところも多く、そういう時代になってきたということも実感できました。今後他産地も回つてみたいと思っています。



↑長野市イベント ↓全国地紅茶サミット



加藤まゆみ

◆郷土食④
12月10日（日）大汁・ゆばし・柿巻の料理教室を開催。今回はNHKの「もぐしん」の撮影もあり総勢30名程度での賑やかな会になりました。今年最後の会ということで、作ったメニューのほかにもたくさん料理が並び贅沢な食卓になりました。次回は3月3日栎がゆ・こんにゃくのくるみ和えを行います。また回覧にてご案内しますが初めての方もぜひ、ご参加ください。



おそうじ道 ⑯ 「トイレ掃除」

トイレ掃除の基本の順番は①便器（トイレ本体）②壁③床です。トイレ掃除では雑菌を広げないために掃除の順番を守ることが重要です。掃除の頻度は大原則の「汚れを見たらすぐ掃除！」を行いつつ、週に1回、掃除の順番はタンク（レバーなども拭きましょう）→便座（蓋のウラなども）→便器の中（淵のなども）→便器の外（便器の下や側面も）。上から下へと掃除をしていきます。トイレの汚れはすぐに掃除をすれば落ちやすいものが多いです。毎日のついでに基本のトイレ掃除をする習慣をつけて、日々の小さな習慣で清潔なトイレをキープしましょう。



dbn・八十二 ふるさと CM大賞 NAGANO

2024年1月3日(水)午後4時

「ふるさと」への思いを「手作りCM」に込めた映像の祭典

今回の23回目は、41市町村から個性あふれる72作品が寄せられ、一次審査を通過した18作品が12月3日（日）長野市のホクト文化ホールで開かれた最終審査会に進出。

私たち天龍村の作品も選ばれ、行ってきました…たくさんの方々のご協力のもと、演技賞を受賞いたしました！（年間20回放映予定）

ありがとうございました!!

CM作品発表に加え、それぞれの市町村が趣向を凝らした“ふるさと自慢”（ちょいたしPR）も頑張ってきましたのでぜひご覧ください！

天龍村は13番目に登場します。

今回のCMとメイキング映像を天龍村のケーブルテレビ122CHにて放映しています。併せてご覧ください。

午前10:07~
午後14:18~

生きる力をつなぐ村



制作メンバー
地域おこし協力隊：加藤・前川・大石
地域振興課：小瀬水・斎藤

約半年の期間、活動させていただいた『ふるさとCM大賞 NAGANO』の作品制作ですが、今年度も皆さんのお借りし、おかげさまで最終審査まで行つてきました。今年も昨年に引き続き、活動をしていくなかでたくさんの村内外の方々とふれあう機会をいただきました。とても有難くてかけがえのない経験をさせてもらっているなあと、改めて感じています。本年もお世話になりました。ありがとうございます。

CM大賞 ご協力ありがとうございました！

約半年の期間、活動させていただいた『ふるさとCM大賞 NAGANO』の作品制作ですが、今年度も皆さんのお借りし、おかげさまで最終審査まで行つてきました。今年も昨年に引き続き、活動をしていくなかでたくさんの村内外の方々とふれあう機会をいただきました。とても有難くてかけがえのない経験をさせてもらっているなあと、改めて感じています。本年もお世話になりました。ありがとうございます。

本番前、最初で最後の全員リハーサル



朝起きて、霜で真っ白になつている景色を見て、急激な冬の訪れを感じました。十二月に入った途端、一気に冬の気配ですね。寒さも本格的になってきたように思います。

文前川 未来